

|        |                           |    |                                                                                                      |
|--------|---------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 肝炎     | H B s 抗原                  |    | 陽性はB型肝炎ウイルスに感染していることを示す。ウイルスを持っているだけの無症候性キャリアが多いが、全体の10%位の人が慢性肝炎になると言われている。現在の状態を知るため、更に詳しい検査が必要である。 |
|        | H B s 抗体                  |    | 過去の感染の既往を示す。陽性者はB型肝炎ウイルスに再度感染する可能性は低い。                                                               |
|        | H C V抗体                   |    | C型肝炎の検査。陽性はC型肝炎ウイルスに感染している可能性が高いことを示す。C型肝炎は慢性肝炎・肝硬変・肝がんへと移行しやすく、治療が必要である。                            |
| 電解質    | Na、K、C l                  |    | 身体の約60%を占める体液のバランス異常がないかを見る。                                                                         |
| 貧血     | 鉄・不飽和鉄結合能<br>(泊ドックのみ)     |    | この2つの関係から貧血の種類を推測する。最も多く見られる鉄欠乏性貧血では、鉄は減少し、不飽和鉄結合能は増加する。                                             |
| 感染症・炎症 | C R P (C反応性蛋白)            |    | 炎症(組織破壊)の有無の検査。                                                                                      |
|        | R F                       |    | リウマチの検査。正常でも5%位陽性に出る。                                                                                |
|        | A S O (A S L O)           |    | A群溶連菌感染症(猩紅熱・急性扁桃腺炎など)・急性糸球体腎炎・リウマチ熱などで高値となる。                                                        |
|        | T P L A 法<br>R P R        |    | 梅毒の検査。R P R法(血清反応)では、梅毒以外の疾患(各種の膠原病、肝疾患)でも陽性反応を起こすことがあるので、T P L A法(抗原法)と組み合わせて判断する。                  |
| 血液学的検査 | 白血球                       |    | 主に免疫機能に関与。好中球・リンパ球・単球・好酸球・好塩基球の総称。                                                                   |
|        | 赤血球・ヘモグロビン<br>ヘマトクリット     |    | 貧血の検査。                                                                                               |
|        | 血小板                       |    | 止血作用に関与。血液の病気や肝硬変などの発見につながる。                                                                         |
|        | 白血球分画(白血球の種類=血液像)         |    | 白血球の形態異常の有無や比率を見ることで、病気の有無を発見する。                                                                     |
| 脂質代謝   | 総コレステロール                  |    | 細胞膜を構成する主成分であり、またホルモンや胆汁酸合成の材料となる。                                                                   |
|        | 中性脂肪                      |    | ブドウ糖が不足した際のエネルギー源。過剰になると膵炎や動脈硬化のリスクとなる。                                                              |
|        | H D Lコレステロール              |    | 善玉コレステロール。動脈硬化を防ぐ役割がある。                                                                              |
|        | L D Lコレステロール              |    | 悪玉コレステロール。動脈硬化を引き起こす原因となる。                                                                           |
|        | non-H D Lコレステロール          |    | 総コレステロールからH D Lコレステロールを引いた値。中性脂肪が高いとL D Lコレステロールの信頼性が低くなるため、この値が使用される。虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)などの新たな指標とされる。  |
| 糖代謝    | 空腹時血糖                     |    | 126mg/dl以上は糖尿病が疑われる。H b A 1 cなどと合わせて糖尿病の診断を行う。                                                       |
|        | ブドウ糖負荷試験<br>(G T T)       |    | 空腹時の血糖値を調べた後、75gのブドウ糖水溶液を飲み、その後2時間で血糖値がどの程度変化したかを調べるもので、糖尿病の診断に用いられる血液検査。                            |
|        | ヘモグロビンA 1 C<br>(N G S P値) |    | 過去1~2か月の血糖値を反映する。6.5%以上は糖尿病が疑われる。                                                                    |
| 痛風     | 尿酸                        |    | 高尿酸血症では尿酸が針状の結晶となり関節や腎臓にたまり、その結果、痛風・尿路結石・腎障害を引き起こす。                                                  |
| 尿検査    | 尿定性                       | 糖  | 血糖値が高くなると陽性となり、糖尿病の血液検査が必要。                                                                          |
|        |                           | 蛋白 | 陽性の場合、腎疾患などが疑われる。                                                                                    |
|        |                           | 潜血 | 陽性の場合、腎疾患・尿路結石などが疑われる。                                                                               |
|        | 尿沈渣                       |    | 尿を遠心分離にかけ沈殿物を調べることで、腎臓・尿路系の病気や部位を推測できる。                                                              |
| 腎機能検査  | 尿素窒素(BUN)・クレアチニン(血清)      |    | 腎機能の低下や脱水などで上昇する。                                                                                    |
|        | e G F R(推算糸球体濾過量)         |    | 血清クレアチニンおよび年齢、性別から計算される。腎臓にどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示す。腎臓の働きが悪いほど値は低くなる。                                |

|   |    |                                    |
|---|----|------------------------------------|
| 便 | 潜血 | 口から肛門までの消化管出血の有無を調べる。大腸がんの早期発見が目的。 |
|---|----|------------------------------------|